

さいき 市議会針灸り

No. 82

令和7年8月

題字は佐伯豊南高校3年生の
作品です。

Beach Clean
in
元猿海岸



大切な海、
ずっと大切にできる
未来へ

6月定例会は6月10日から7月2日までの23日間の会期で開催されました。

- ★ 市議会は、受付の名簿に氏名等を記入するだけで傍聴できます。お気軽にお越しください。
- ★ 市議会に関する情報は佐伯市のホームページから閲覧できます。

佐伯市議会

検索



6月定例会の概要

こんなことを **審議** しました

6月10日から7月2日まで23日間で開催され、予算議案1件、予算外議案6件、専決処分の報告1件、請願2件及び意見書案1件が提出されました。

不採択とされた請願（2025年度大分県最低賃金の改正等に関する意見書の請願）を除き、原案のとおり可決・承認・採択されました。

補正額 13億3,232万円
(令和7年度予算総額 441億3,232万円)

選挙年の3月に編成された翌年度の当初予算は“**骨格予算**”。選挙後に新市長によって編成される補正予算は“**肉付け予算**”と呼ばれています。

一般会計補正予算(第1号)の主な事業

上堅田地域コミュニティセンター整備事業 **新規** 7,092万円

老朽化によって建て替えが必要な上堅田地域コミュニティセンターと、児童数の増加により面積が不足している放課後児童クラブを複合施設として建設します。



▲ 現在の上堅田地域コミュニティセンター



▲ 星の子児童クラブ活動の様子

総合運動公園遊具広場改修事業 **新規** 300万円

300万円

老朽化が進んでいる総合運動公園遊具広場の改修に向けた調査を行います。



◀ 現在の総合運動公園遊具

中学校エアコン整備事業費 **新規** 7,510万円

7,510万円

教育環境の改善を図るため、全中学校の特別教室(理科室等)にエアコンの整備を行います。



◀ 普通教室に設置されているエアコン

経営発展支援事業(地域計画早期実現支援) **新規**

3,686万円

地域農業の将来設計図である地域計画（地域農業経営基盤強化促進計画）を早期に実現するため、将来の地域農業の担い手である新規農業就労者等に対し、経営発展に向けた機械・施設等の取得またはリース、家畜の導入費の取組に係る費用の一部を助成します。



特定地域づくり事業協同組合支援事業 **新規**

4,563万円

特定地域づくり事業協同組合制度により設立された、佐伯特定地域づくり事業協同組合※に国・県・市の財源を活用して財政支援を行います。

※事業者の労働需要に応じた労働派遣事業と一般社団法人佐伯市ベースボールイノベーション協会による硬式野球を通じた地域貢献活動を実施



▲ 佐伯市硬式野球団内定式



▲ 佐伯市硬式野球団

洪水ハザードマップ作成事業

2,403万円

令和3年7月の水防法の一部改正により、洪水浸水想定区域図の対象河川が、住宅などの防護対象が周辺にある中小河川まで拡大されたため、それに対応したハザードマップの作成を行います。

佐伯市ワークトライアル事業 **新規**

198万円

市内の事業所等の人手不足を解消するために、市外の短期就労求職者と事業所をマッチングし、労働力を確保することで就業を通じた関係人口の創出を図ります。

農林水産物の消費拡大事業 **新規**

943万円

九州一広い佐伯市の豊かな農林水産物をPRするため、これまで行ってきた水産業に特化した消費拡大イベントに農業と林業を加えた「佐伯市農林水産祭 祭日豊」を開催します。

フロントヤード改革推進事業 **新規**

1,508万円

住民サービスの向上と行政事務の効率化を図るため、デジタルツールを活用し、住民と行政の接点である窓口等(フロントヤード)の改革を進めます。



請願

「2025年度大分県最低賃金の改正等に関する意見書の請願」

不採択

- ① 最低賃金の引き上げによる自律的経済成長の実現
- ② 県内での労働力確保につながる地域間格差の是正
- ③ 中小企業・小規模事業者への影

響の検証、各種支援制度の継続と実効ある対策

本会議にて討論・採決の結果、**不採択とすること**に決しました。

賛成討論

森川寿子 議員

この請願は、地域で働く全ての労働者が、安心・安定した暮らしを実現するための賃金引き上げと企業支援を国に求めるものである。
今の物価上昇に対応し地場企業存続のためにも、この請願に賛成する。

反対討論

梶川善寛 議員

賃金上昇には、中小企業・小規模事業者の考えを聞くべきであり、経済団体等と協議し連携が必要。
また、継続的な最低賃金引き上げとその影響の同時検証は困難である。環境整備を先行してこそ改善が行われると考える。

意見書

「ゆたかな学びの実現と教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書」

- ① 教職員定数改善・高等学校での35人学級の実現
- ② 教育費の国庫負担割合を2分の1へ還元し、少人数学級推進・複式学級解消

議会の意見書を関係機関へ提出しました。

【議員の表決態度の公表】

※賛否が分かれた議案等について掲載しています。
※議長（塩月健治）は、通常の過半数議決には表決権がありません。

件名	議決結果	賛成 反対 (○) (●)	一志会										佐伯を元気にする会		さいき会		彗星会		公明党		無会派		
			梶川善寛	河原勝也	大崎栄治	塩月将登	染矢和陽	河野和史	廣津留龍二	西條隆洋	三浦房代	本田清三	井上清三	富松万平	大野達也	池澤益彦	本杉貴志	吉良栄三	後藤勇人	脇坂豊	佐藤元	高司文	森川寿子
2025年度大分県最低賃金の改正等に関する意見書の請願	不採択	2:19	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	議長
ゆたかな学びの実現と教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書	原案可決	20:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議長

建設経済常任委員会 葛港市場の今後について 意見交換

建設経済常任委員会では6月10日に、葛港市場（公設市場）を訪問しました。建物の老朽化の状況を確認し、市場関係者の方々と、葛港市場の今後の在り方について、意見交換を行いました。

市場関係者からは、公設市場の廃止方針への諸課題や、今後の運営について、多くの意見をお聞きしました。



議員プロフィール紹介

4月の選挙で新たなメンバーとなった佐伯市議会。
議員を身近に感じてもらえるよう、22人の議員プロフィールを紹介します。
議員の人柄が感じられる5つの質問に答えてもらいました。

※ 議席番号順

質問項目

- ① 趣味または特技
- ② 好きな食べ物
- ③ 苦手なこと（失敗談など）
- ④ 佐伯市のおすすめスポット
- ⑤ メッセージやモットー



みうら わたる
三浦 渉 議員

- ① 野菜作り(特にすいか)
- ② メロン、びわ
- ③ 酒・焼酎
- ④ 本匠の大水車
- ⑤ あなたと、次の佐伯へ



さいじょうたかひろ
西條 隆洋 議員

- ① エギング
- ② 焼肉
- ③ 人見知りのところがあり勘違いされる
- ④ 蒲江の波当津にある「波当津美術館」
- ⑤ 佐伯市政において、二元代表制を大切にしたい。



かわはら かつや
河原 勝也 議員

- ① 読書、自然散策
- ② 刺身、鳥料理
- ③ 朝が苦手です。高校時代、よく通学時間のバスに乗り遅れていました。
- ④ 本匠山部の佩楯(はいたて)山
- ⑤ 初心を忘れずに、全力で取り組みます。よろしくお願いします。



おおさき えいじ
大崎 栄治 議員

- ① ウォーキング
- ② カレー
- ③ 待つことが苦手
- ④ 波当津海岸
- ⑤ 健康一番



ほんだ ふさよ
本田 房代 議員

- ① 料理(沢山つくる事)
- ② 美味しいもの全て
- ③ 人前での挨拶(挨拶は短く幸せは長く)
- ④ 青山河川公園
- ⑤ 当たり前毎日は奇跡の連続だ



いのうえきよみ
井上 清三 議員

- ① 魚釣り
最近行ってないです…
- ② 納豆 毎日食べてます。
- ③ 特にはないが、病院で診察されること。
- ④ 猪串地区にある「弁天島」天然自然が満喫できる。
- ⑤ 議会に目を向けてほしい傍聴にも積極的に参加してほしいです。

議員プロフィール紹介

質問項目

- ① 趣味または特技 ② 好きな食べ物 ③ 苦手なこと（失敗談など）
④ 佐伯市のおすすめスポット ⑤ メッセージやモットー



さとう はじめ
佐藤 元 議員

- ① なし
- ② なんでも食べる
- ③ 特になし
- ④ 西浜にある、巨大壁画
佐伯州浜竜宮図
- ⑤ なし



たかじ まさふみ
高司 政文 議員

- ① いろんなことに手を付ける（多趣味）ので決められない
- ② 嫌いなものがない
- ③ 失敗談が多すぎて語り尽くせない。
- ④ 佐伯市はおいしい飲食店が多く、魅力ある地域も多く迷います。
- ⑤ 市民の願いをよく聴き、行動し、柔軟な発想で市に提案していきます。



しおつき まさと
塩月 将登 議員

- ① ラップ
- ② 佐伯ラーメンと佐伯で獲れた新鮮な魚
- ③ お酒との付き合い方
お酒を飲んでの失敗談は数え切れません。
- ④ 夏の蒲江の元猿海水浴場
- ⑤ このたび、佐伯市会議員として新たな一歩を踏み出しました。まだまだ未熟ですが、皆さんの声に耳を傾け、気づきと意識を大切にしながら一歩ずつ前に進んでいきたいと思っています。



そめや かずあき
梁矢 和陽 議員

- ① ランニング、ゴルフ
- ② 刺身、焼き鳥、焼肉
- ③ 高所恐怖症
- ④ 城山からの景色と番匠川沿いの景色
- ⑤ 人と話すのが好きなので、見かけたら気軽に声をかけてください。



おおの たつや
大野 達也 議員

- ① 写真と和太鼓を練習中
- ② チーズハンバーグ
- ③ おしゃべり(笑)
人数が多いと、話し出すタイミングが分からず、いつの間にか聞き上手になってます。
- ④ 佐伯城跡、大入島、進水式
- ⑤ 議員を見かけましたら、お声かけください。喜びます。



しおつき けんじ
塩月 健治 議員

- ① ゴルフ 休日はゴルフ番組を視聴している。
- ② とんかつ、魚(何でも)
- ③ 花の名前を覚えること
花が好きな妻から花の名前を教わってもすぐ忘れてしまう。
- ④ 高平展望公園 素晴らしい海景色が望めます。
- ⑤ 皆さまの「声をカタチに」をモットーに日々努力していきます。



ごとう ゆうと
後藤 勇人 議員

- ① ネットショッピング、サッカー
- ② ピザ、焼き鳥
- ③ 歌を歌うこと(音痴です)
- ④ 巨大なカブトムシのモニュメント(直川) 藤河内溪谷(宇目)
- ⑤ 小さなことからコツコツと積み上げて さいきを変えていきたいです。



わかさか ゆたか
脇坂 豊 議員

- ① 映画鑑賞・研究
- ② とり天
- ③ 方向音痴で初めて行ったところは大体迷う。
- ④ 佐伯市全土から見える、星屑満点の夜空
- ⑤ 市民の皆様からの小さな声を市政に届けます。変えてはいけないものは守り、変えなければいけないことは積極的に変えていきます。



かわの かずふみ
河野 和史 議員

- ① 韓流ドラマ鑑賞、トレーニング、マッサージ
- ② 寿司
- ③ □喧嘩 一般質問で討論べただと再確認。修行します。
- ④ 馬場の松
- ⑤ 「佐伯を愛する人を増やしたい」というスローガンのもと、「学び、働き、暮らし」の一層の充実に向け、一生懸命頑張ります。市民の皆様の多くの意見を聞かせてください。



ひろつる りゅうじ
廣津留 龍二 議員

- ① 野球、ソフトボール、ゴルフ
- ② ラーメン
- ③ お酒
- ④ 鶴御埼灯台
- ⑤ 地域のためにがんばります。



とみまつまんぺい
富松 万平 議員

- ① 映画鑑賞、読書、陶芸。
- ② 魚料理と鶏の唐揚げ
- ③ 早口言葉、滑舌。明瞭に伝える努力を日々重ねています。
- ④ 空の公園の四季折々の絶景。元越山の360度の展望。
- ⑤ 「暮らし続けたい佐伯」を皆様と共に創り上げていきます。



いけざわますひこ
池澤 益彦 議員

- ① 料理、自転車・バイク、庭いじりなど。ちなみに犬派です
- ② 海辺出身なので「小あじの丸干し」や「にいなのちらし寿司」「くじゃく」など海産系
- ③ 禁煙です。趣味と言われるほど禁煙チャレンジしてきました。7年続いた禁煙も破った実績あり。今は10年以上禁煙が続いています…
- ④ 鶴御埼です！水平線が丸く見えます？
- ⑤ 好きな言葉は「雨垂れ石をも穿つ」です。こつこつ佐伯市の地域振興の一助となるよう一所懸命頑張ります！



もとすぎたかし
本杉 貴志 議員

- ① ピアノ・ゴルフ
- ② 蕎麦
- ③ ダイエット
- ④ 福泊の三ツ石
- ⑤ 楽しい佐伯市をつくりましょう！！



きら えいぞう
吉良 栄三 議員

- ① 演奏旅行が好きです。
- ② とうきびが美味しいです。
- ③ 自分アピールが苦手です。
- ④ 伏野の高台がお気に入りです。
- ⑤ いせいせいめい 為政清明であるよう頑張ります。



もりかわ ひさこ
森川 寿子 議員

- ① 映画・アニメ鑑賞 直感と、目に見えない“サイン”を感じる
- ② グリーンカレー
- ③ 早口や、一方的な話し方が苦手。内容をうまく理解できないです。丁寧に話してもらえると助かります。
- ④ 沢山ありすぎる 特に自然
- ⑤ 議会や市政に興味を持ちたくなるように活動していきます！



かじかわ よしひろ
梶川 善寛 議員

- ① 料理
- ② お酒・刺身・ラーメン・カレー・唐揚げ
- ③ 歌(前職のフリー時代にオープニングで歌って苦情の電話が入った)
- ④ 岸河内や本匠の清流で泳ぐ。番匠川や暁嵐の滝での生き物探し。魚介類や個性ある佐伯ラーメン。
- ⑤ 「創意と工夫」。無いものを嘆くのではなくて、創り出す意欲を持ち足りないものを補う工夫をしていきたいです。

代表・ 一般質問

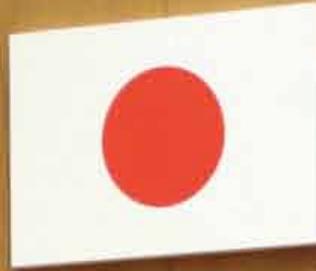
代表質問 6月17日

一般質問 6月18、19、20日

※代表・一般質問の掲載について

代表・一般質問の記事は、議員の責任において、本人が質問・答弁の原稿を作成しています。その内容に相違がないときは原則として原文のまま掲載しています。

なお、代表・一般質問の掲載順序は紙面の都合上、質問順とは異なります。



質問者	質問の要旨
佐伯を元気にする会 西條 隆洋	・富高市長の市政運営方針と優先課題について
公明党 後藤 勇人	・三つの柱の施策について ・佐伯市役所の改革について
さいき会 富松 万平	・富高市長の施政方針について
彗星会 吉良 栄三	・富高市長の政治姿勢について
一志会 梶川 善寛	・3つの政策の柱について ・佐伯市の未来ビジョンについて
河原 勝也	・学校給食費の無償化について ・中学校部活動の地域移行（文化部）について ・本匠小中学校の「茶育」を発展させた国際交流について ・災害と福祉について
高司 政文	・市政の継続について ・建築基準法及び建築物省エネ法の完全施行について
本田 房代	・教育と福祉の充実について ・命を守る防災政策について
池澤 益彦	・佐伯市の事業承継への取組について
河野 和史	・地域コミュニティ協議会について ・市内高校の現状と生徒確保に向けた市の取組について ・ふるさと納税確保のための取組及び移住支援について
井上 清三	・連携中枢都市圏構想に位置づけの「大分都市広域圏」加入について
脇坂 豊	・コミュニティバスの運行について ・熱中症対策について ・介護分野における特定技能・技能実習生の雇用支援について ・物価高騰対策について
佐藤 元	・防災対策について ・道路整備について ・建設発生土処理場新設事業について
本杉 貴志	・運転免許自主返納に対する支援について ・公共施設のトイレについて
森川 寿子	・教育環境の充実について ・教職員の働き方改革について
三浦 涉	・さいき城山桜ホール運営委員会補助金について ・番匠川河口橋の進捗状況について ・小半鍾乳洞について
大野 達也	・ウォーカーブルなまちづくりについて ・道路の愛称について
塩月 将登	・特別支援教育について ・非認知能力の育成について
廣津留龍二	・地域公共交通について ・閉園した市立幼稚園について
染矢 和陽	・観光行政における今後について ・福祉の総合相談窓口について ・佐伯市医師会立佐伯看護学院の今後について

※各議員の質問は2次元コードからご覧になります。



富高市政で佐伯はどう変わるのか？
佐伯を元気にする会 西條 隆洋



問 新市長が掲げる基本姿勢について問う。

答 基本的には第2次佐伯市総合計画の政策を継承する。

問 市民参加型の市政運営への姿勢について問う。

答 誰もが市政に声を届けられる環境や市民の声を聴く機会を作る。

問 職員への指示と行政改革について問う。

答 職員には「市民ファースト」の姿勢を常に意識するように伝えてある。

問 市政の継続性と評価の見直しについて問う。

答 「xいき7つの創生」を各分野において積極的に推進されてきたと認識している。見直しや改善は、市民の声を聴き、柔軟に対応する。

問 地域間格差や人口減少への対応姿勢について問う。

答 各種補助金の交付により移住促進をする取り組みに加え、移住者交流会を山間部で開催するなど、相互の関係を深める移住後の環境づくりにも努めている。



「明日も行きたい」を目指して！
公明党 後藤 勇人



問 教育の充実と「佐伯をつなぐ人」を育てる施策とは。また、子どもたちが「明日も行きたい」と思えるような学校づくりや教育環境の整備と教育に携わる方々への支援は。

答 未来を担っていく人材である「佐伯をつなぐ人」の育成は、子どもと地域と産業がつながる「ふるさと産業教育」の充実や地域コミュニティ組織の活性化による人材育成、性別に関係なく互いにその人権を尊重し、個性と能力を十分に発揮できる「男女共同参画社会」の推進、佐伯市民大学「令和四教堂」の充実等に取り組む。また、児童生徒が「明日も行きたい」と思える環境整備を進めるために、自己肯定感を高める「表現教育」の推進。地場産物や有機食材を活用した学校給食を通じた食育の更なる推進。近年の猛暑から児童生徒を守るために、本年度、全

中学校の特別教室のエアコン設置を進める。また、教育に携わる方々への支援は、部活動の地域移行の推進などの取り組みにより、教職員の負担軽減を進めていく。



▲ 7月5日開催「令和四教堂」にて聴講する高校生



市長の政治家としての原点は？
さいき会 富松 万平



問 富高市長が市長をめざした動機と政治家としての原点を問う。

答 これまで32年間、福祉の現場で多くの方々と手を取り合い、笑顔でつながってきた。平成5年に立ち上げた「つるおか子ども家」では、子どもたちが地域で愛され健やかに育つことをめざして活動を続けてきたが、今日、子どもや大人を取り巻く環境には様々な生きづらさや困難が増えていく。佐伯に住む市民の皆様が、生きがいを持ち、安心して暮らせるまちを作りたい。その強い思いが、佐伯市長の道へと導いた。

政治家としての原点は、教師、福祉の現場での経験、佐伯市議会議員としての経験、その全てにある。特に「つるおか子ども家」での経験を通じて、子どもたちの穏やかな成長には地域全体の支えが不可欠だと強く実感した。そして、子どもや子育て家庭だけでなく、高齢者、障がいのある方々、若者、地場産業を支える全ての人々が佐伯で自分らしく生き生きと暮らせる環境を整えるには、個別の活動だけでは限界があると感じるようになった。所信表明で掲げた3つの政策もこの思いに基づいている。

3つの政策を相互に連携させることにより、佐伯市全体の未来をデザインしたい。こういう思いが、佐伯市長をめざした動機である。



**間かせて！市長の
思いや意気込みを**

慧星会 吉良 栄三



問 佐伯駅・港周辺エリアの活性化と、葛港市場の方向性について、どのようなビジョンを持っているのか。

答 佐伯駅・港エリア周辺の活性化については、重点エリアと位置付け、市街地グラウンドデザインにおいて「海を感じ、遊びたくなる港町」をめざしていきたい。葛港市場については、公設市場の廃止は堅持しつつも、廃止時期については更なる議論が必要と捉え、市場関係者と協議していく。

問 現在は副市長が不在の状況となっているが、副市長の体制、役割、処遇等の在り方について、どう考えているのか。

答 佐伯市は九州一の広大な面積を有する自治体であり、人口減少・少子高齢化に伴い、行政需要は複雑・多様化している。こうした状況の中で、市政を円滑に推進するために副市長は2人制が必要と判断している。市長のめざす市政実現のサポートと職員の事務執行のマネージメントや、市民企業や各種団体等の連携を強固にしていく役割を担う。人選はこれからだが、2人の副市長には市政の中核を担う重要な役割として、交渉能力や企画力、遂行能力などを総合的に考慮し決定したいと考えている。



**市長の
未来ビジョンは？**

一志会 梶川 善寛



問 市長が掲げる「教育と福祉の充実」「命を守る防災」「地場産業の育成と活性化」という3つの政策の柱がもたらす佐伯市の未来ビジョンはどういったものか。

答 この3つの重点施策から、未来ビジョンともいうべき「3つの基本的方向性」を掲げ共通認識として各施策を推進する。

1点目は「誰もが挑戦できるまちづくり」。性別や世代に関わらず、誰もが挑戦し活躍できる可能性と選択肢が与えられ、若者や女性に選ばれるまちとなるよう、環境整備を重点的に支援していく。

2点目に「誰もがお互いを尊重するまちづくり」。市民一人一人の思いや考えは違っても当たり前であり、持続可能な佐伯市の実現には、市民がお互いに尊重し合うまちづくりが重要である。そのために、誰もが気軽に市政に声を届けられる環境や、私が市民の声を聴く機会をつくる。

3点目は「誰もがつながるまちづくり」。地域課題の解決は、これまで以上に市民・企業・団体などに加え、他の自治体や市外の企業との連携について、より一層進めていく必要がある。全ての方々との連携を深め、「誰もがつながるまちづくり」を進める。

この3つの基本的方向性を共通認識として、各施策を相互に連携させることで効果的に推進されると確信している。



**本匠・中学校の「茶育」
学習を国際交流のステージへ**

河原 勝也



問 本匠小・中学校で実施している探求学習「茶育」を発展させて、「教育旅行」などの国際交流を図る考えはないか。

答 まずは、諸外国の方々と、オンライン等を通じてお互いが持つ魅力について理解し合う活動を推進していく。

問 本匠の子ども達が、地域の協力をいただきながら、主体的に取り組み発展させてきた「茶育」の学習。また新たなグローバルなステージに押し上げることによって、今までは異なる気づきや人間形成に大きく寄与するのではないか。

答 本匠小・中学校は、来年度から小規模特認校としてスタートする。特色のある教育活動も必要と考える。今すぐに「教育旅行」まで展開するとは言えないが、今後、子ども達が希望の持てる一つの大きな目標として設定したい。



▲ 茶摘み体験の様子



建築基準法等の改正と 住宅リフォーム助成を 問う

高司 政文



問 建築基準法及び省エネ法が改正され、本年4月1日より完全施行された。設計者及び建築業者、市民への影響を問う。

答 設計者は、構造関係図書提出義務や省エネ基準適合の関係図書作成も追加され、業務が増加している。建築業者は、断熱材等の必須化により、技術取得や施工管理が必要になっている。建築主は、設計費や工事費等の増加に加え、申請手続きや工事時間を要することになるが、省エネによる光熱費の節減は期待できる。

問

法改正は空き家の改修まで対象となっているため、費用面から放置される可能性がある一方、リフォームしておけば、大規模災害時には「みなし仮設住宅」としての利用が考えられる。空き家の所有者は管理しておけば、家賃収入が得られ、その後被災者が定住する可能性もある。被災者は、事前に避難先を確保する契約を結んでおけばすぐに入居できる。佐伯市も、仮設住宅の場所探しや建設する費用等が省ける。空き家のリフォーム助成及び事前復興計画としてのみなし仮設住宅に取り組まないか。

答

新たな空き家のリフォーム助成は考えていないが、みなし仮設住宅は有効であると考えてるので、国と連携して対応する。



新たな「人材育成基金」 を創設しては？

本田 房代



問 若者を支えるための事業の一つとして現在取り組まれている「さいき創生人材育成基金」5億円の原資を使い切った後、新たな「人材育成基金」を創設するという考えはないか問う。

答 「さいき創生人材育成基金」は、さいき創生につながる人材の育成を図るため、個人からの寄附金を原資に設置したものである。令和7年度は、奨学金の返済を交付の申請から9年間支援し市内就労を促す「さいき創生人材奨学支援事業補助金」ほか6つの事業に充当し、16年度に基金を使い切る予定である。

新たな「人材育成基金」の創設については現在考えていないが、「さいき創生人材奨学支援事業補助金」については本市への定住や地元就職に一定の効果があるため、新たな仕組みを他部署と連携を図りながら考えていきたい。



▲「さいき創生人材育成基金」充当事業の表現教育を通じた人間力育成支援事業



佐伯市の事業承継への 取り組みについて

池澤 益彦



問 「事業承継」は働く場の確保の点で非常に重要である。ところが、政府の統計では平成23年から令和3年までの10年間で事業者数が約2割も激減している。また、令和6年に大分県で休業・解散した事業者の約7割は黒字企業である。事業承継に掛かる市の取り組みで不足している点を問う。

答

佐伯市における事業承継のハブ機能として、大分県事業承継・引継ぎ支援センターと協業して様々な施策を行っている。

一方で、事業承継に関する事業者向けの啓蒙活動や、研修等を通じて職員のスキルを高める取り組み、事業者のニーズに合ったサービスをつなぐ組織体制の構築など、更なる取り組みが必要と考える。

問

第2次佐伯市総合計画や、まち・ひと・しごと創生総合戦略へ、事業承継の施策が盛り込まれない。結果として、佐伯市の事業承継の取り組みも弱くなっていると思われる。については、第三次総合計画等を作成する際に、事業承継への取り組みを盛り込む意向があるのか。

答

第3次佐伯市総合計画や、まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定する際には、事業承継についての現状と課題を踏まえた取り組みを掲載したいと考えている。



▲「事業承継に関する佐伯市HP」



地域コミュニティ協議会で 行政区は再編するの？

河野 和史



問 人口減少や少子高齢化により、行政区個々の弱体化が問題となっていて、今後は、協議会が立ち上げられている。今後、市は区の再編まで考えているのか。

答 原則は地域で暮らす住民がその生活の実情に応じて検討していくものと考ええる。

問 協議会の活動が活発化することにより、行政コストの削減が図られるか。

答 地域住民と行政の協働の仕組みづくりを進めていくなかで、それぞれの役割分担を明確にし、連携して住民自治に取り組みることによって行政コストの削減が図られる可能性はあると考える。「住民の、住民による、住民のための地域づくり」という意識を醸成していくことが重要である。

問 既存の組織のまま協議会を運営した場合の課題と解決策は。

答 既存団体同士、あるいはコミュニティ協議会との取り組みが重複している場合には、話し合いにより連携していくことで負担軽減につながると考える。地域活動を持続可能な取り組みとするためには、人材発掘、人材育成の仕組みを各地域で考えていくことが重要である。



市民のために「大分 都市広域圏加入は」

井上 清二



問 国は、「連携中枢都市圏構想」として、人口減少・少子高齢社会でも、地域を活性化し、経済を持続可能なものとし、国民が安心して快適な暮らしができるよう、近隣の市町村と連携し、経済成長のけん引、高次都市機能の集積・強化及び生活関連機能サービスの向上を行い「活力ある社会経済」を維持する政策を行っている。この制度に連動し、大分県では、大分市を中心とした7市1町で「大分都市広域圏」が設置されたが、佐伯市は、議会から再三の提言もむなしく、制度に参加・加入してない。平成28年の制度開始から9年間にわたり、市民に大きな不利益を与えている。この「大分都市広域圏」は、総工費917億円の最新設備の「一般廃棄物処理施設」つまり「新環境センター」が大分市を核に竹田、由布院、豊後大野市、臼杵、津久見の6市で建設・完成も間近である。佐伯市の現状を問う。

答 消極的だったが、大分広域圏の方に加入する形で準備を進めている。今回第三期ビジョン作成のため、ぜひ加入させてほしいと、強烈に申し上げ、大分市からも良い返事を受けた。また、「新環境センター」に加入の暁には一般廃棄物処理施設整備部会や環境部会の組織もある。情報収集とか、そういったことに努めていく。



交通弱者を救え！ 野崎線復活を！

脇坂 豊



問 市内の公共交通はここ10年でどう変化したのか。

答 これまで山間部の弥生、本匠、直川地域では地域の実情に合わせて予約に応じて運行するデマンド交通へと変更した。運賃は地域内での不公平感をなくすため、これまでの距離に応じた運賃を見直し、旧町村単位を基本とした独自のエリア運賃制を導入した。これにより同じエリア内であればどこまで乗っても運賃は均一となる。そして、小さなお子さんや障がいをお持ちの方への割引料金も設け、誰でも利用しやすい制度を整えた。

問 令和3年に乗客が少なかったため廃線となった野崎線だが、現在は交通弱者が増えているが復活はあるのか。

答 高齢化が進む中、野崎地区のみならず市内地域でも、同様の要望があることは認識している。今後も路線の設定の改善等については、各地域の利用見込みや必要性、利用者の声を踏まえ、関係機関と協議を行いながら、佐伯市地域公共交通計画に基づき、慎重に進めていく。



各地域の防災対策について問う

佐藤 元



問 番匠川の河口付近の堤防整備の防災対策をどのように考えているのか。

答 佐伯市としても、蛇崎地区の堤防耐震対策について、令和6年に国土交通省宛ての要望書を提出しているが、引き続き、対策工事の早期完成を国土交通省に要望していきたい。

問 離岸堤の整備について国・県と協議を行っているのか。

答 上浦地区の福泊漁港海岸において、国・県との協議を行い、水産庁所管の補助事業により令和5年度に着手し、継続して離岸堤を整備している。整備は、多額の費用がかかることから、管内の漁港・海岸事業の緊急性や優先度を勘案しながら、国・県と連携し、今後も各地域の高潮対策等が進められるよう予算確保に努めていく。

問 弥生江良石内区の戊申ため池の排水設備、市道溜池線の道路補修、転落防止柵の設置など、どのような対策を行っているか。

答 対策として、事前に池の水を放水し常時より低い水位で管理する方法を、今年の5月から実施している。また、市道溜池線は、要望を受けて、損傷の激しい舗装箇所の補修を実施している。戊申ため池及び市道溜池線については、今後も引き続き地区及び関係者と調整を図りながら、住民が安全に生活できるよう対応していく。



トイレ環境の充実にについて

本杉 貴志



問 観光施設・公園等の公共施設のトイレに関して、便座除菌クリーナー用ディスプレイの設置を望むという声をよく聞く。トイレ環境の充実のために、全ての施設のトイレに便座除菌クリーナー用ディスプレイを設置することは、費用面や維持管理上の課題はあると思うが、まず、総合運動公園遊具広場横のトイレに設置して、調査・研究すべきと考えるが市の考えを問う。

答 総合運動公園内のトイレだけで100か所の洋式トイレがある。便座除菌クリーナー用ディスプレイを全てのトイレに設置することは厳しいが、まずは、遊具広場横のトイレ内、男女・多目的トイレを合わせて5か所の洋式トイレに設置する。



▲ 総合運動公園遊具広場横トイレ

問 今の子どもたちや学校を取り巻く課題について、市長はどのような認識を持っているのか。

答 現在の教育現場では、いじめや不登校、特別支援教育を受ける児童生徒数の増加やネットトラブル、ヤングケアラーなど、子どもたちを取り巻く様々な課題がある。また、教員の長時間勤務による疲弊や教員不足の深刻化、学校施設の整備や学校統廃合等のハード面の課題にも対応する必要がある。少子化が進む中、学校教育の維持とその質の保証が大きな課題である。

問 これらの課題に、どう対応していくのか。

答 児童生徒が「明日も行きたい！」と思える教育環境の整備を進めているところ。小中一貫教育や校内登校支援ルーム、教育支援センターの取り組みなどを継続するとともに、今後は、自己肯定感の向上をめざし、小中学校において、「コミュニケーション力と人間性を育成する「表現教育」を推進し、演劇的手法を取り入れた授業を進める。また、本年度中に全中学校の特別教室にエアコンを設置する。さらに、児童生徒にゆとりある学校生活や教職員の働き方改革に資する二期制導入の検討や、学校統廃合に向けた検討にも着手する。



富高市長のめざす教育の方向性は？

森川 寿子





番匠河口橋について 問う

三浦 渉



問 番匠河口橋の建設は、市町村合併時の大分県との協議事項である。20年が経過した今日、検討協議はどのようになってきているのか問う。

答 大分県との協議については、番匠川河口橋建設推進期成会と連携した要望活動が中心であり、着手については、見込みが立っていない旨回答を得ている現状である。

問 随分時間が経っているが、全く進んでいない状況である。合併協議会で1市5町3村の市町村長が調印し、合併後には佐伯から灘に橋を架けようと言った以上は架けるのが本当ではないか。市長の心得を問う。

答 これまでも実現に向けて努力をしてきたと思う。これからの活動や、今までの取り組みについては、先ほどの部長答弁のとおりだが、できる限りの要望活動を私も続けていきたいと思っている。議員の皆様にも御協力をいただきたいと思っている。



歩きたくなる まちづくりを 問う

大野 達也



問 車主役の街路空間を、人中心の空間に転換し、居心地が良く、歩きたくなるまちづくりが各地で進められている。まちなかの回遊を促し、歩くスピードが偶然の出会いや気づきを生み、街路での交流は、まちに活力と賑わいを生み出す。
安全で快適に滞在できる人中心の街路空間づくりとして、市街地の主要道路の歩道部分を計画的に拡幅できないか。

答 限られた空間の中で最大限の工夫を凝らし、市民が快適に歩ける環境整備に努める。旧三余館から山際史跡広場までの市道は、エリア全体の整備を検討する中で、歩道拡張も含め、調査・研究を進めたい。

問 ベンチは歩行距離を伸ばし、街路を通りすぎる場所から滞在する居場所に変える。人との交流は消費へとつながり、コミュニティケーションの増加は、健康度や幸福度を向上させる。一〇五万円などの寄附制度を設けながら、まちにベンチを増やせないか。

答 ベンチの設置は、様々な利点がある。設置には利用者のニーズ、管理、安全確保が重要である。公共用地を中心に候補地を選定したい。寄附制度は費用負担の方法として、参考にしたい。



特別支援教育について問う

塩月 将登



問 特別支援教育の教育内容と環境整備について、市の教育現場では、特別支援児童の特性を前向きに捉え、多様な学び方を保障するために、どのような教育環境の整備を進めているか。

答 教育環境の整備については、「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」を作成・活用し、障がいや学びや学校生活に影響しないように合理的配慮を可能な範囲で提供している。例えば、一日の予定が把握できにくい子どもに対しては、見通しが立つようその日の予定をカードや表にしたり、周りの刺激に敏感な子どもに対しては、仕切りのある机を用意したり教室内掲示を少なくするなどの配慮がなされている。また、視覚優位の子どもに対しては、写真や絵を使って説明をするなど、個々の子どもの特性に合わせて教材の工夫を行っている。

問 インクルーシブ教育について問う。

答 特別支援学級をネガティブに捉える意識は、なくなりつつある。このことは、各学校において、保護者に対して特別支援学級の在り方や重要性の啓発を続けてきたことや、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなもの見方や考え方があつたことを理解する道徳教育や人権教育を重ねてきた成果であると考える。



問 運行ルートやダイヤの見直しはどのような手順・過程を経て行なわれるのか。

答 運行ルートやダイヤの見直しは、佐伯市地域公共交通計画に基づき、利用実績など分析し、優先順位を設定し、より効率的で使いやすい運行体制へと再編していく。

再編案は、地域の皆様へ住民説明会や関係機関との丁寧な調整を経て、佐伯市公共交通会議での承認を得た上で、運輸支局や県への手続きを行っていく。

問 見直しに当たって、市民意見はどのように把握するのか。また具体的にどのような意見が出されたか。

答 市民の皆様からの貴重な意見は、各地域での説明会や、市民の窓に寄せられる問い合わせメール、電話、窓口への直接の御意見、地区からの要望を通じて把握している。

特に高校生については、今年度から市内の高校に協力いただき、ウェブアンケート調査を実施し、利用状況をより正確に把握するよう努めている。

市民の皆様の声に真摯に耳を傾け、地域の特性に応じたきめ細やかな公共交通サービスを提供できるよう、柔軟な見直しと改善を重ねていく。



問 数年前から、各地の観光地において、「地名をデザインしたモニユメント」が一つの観光資源として定着しつつある。

こうした「映えるランドマーク」は、「来た」「撮った」「共有したい」という観光心理をうまく刺激し、知名度向上や誘客のきっかけになっている。

佐伯市においても、港・海岸・道の駅などに「SAIKI」などの地名モニユメントを設置し、観光客にとつての写真スポット・地域のシンボルとすることについて、市はどのように考えているのか。

答 地名モニユメントは、近年、多くの観光地で設置され、観光客が写真を撮り、それをSNS等に投稿することで、観光地としての魅力を高め、地域のアイデンティティを強調する役割を果たしていることは認識している。

本市においても、観光施設などに「SAIKI」の地名モニユメントを置くことは、地域のブランディングや誘客につながるものと考えている。現時点での設置は考えていないが、今後は他の自治体での活用事例などが、本市でも有効なのかを探っていく。



▲ 千葉県夷隅郡御宿町

第 15 回 議会報告会を行います 予告

2年かけてコミュニティセンター及び地区公民館を基礎とした全19地域に伺います。
※詳細については次号でお知らせします。

日 時	会 場
11月8日(土) 午前9時30分～11時00分	鶴見地域コミュニティセンター
11月8日(土) 午後1時00分～2時30分	上堅田地域コミュニティセンター
11月8日(土) 午後3時30分～5時00分	八幡地域コミュニティセンター
11月10日(月) 午後7時00分～8時30分	鶴岡地区公民館
11月11日(火) 午後7時00分～8時30分	佐伯地区公民館
11月12日(水) 午後7時00分～8時30分	下堅田地域コミュニティセンター
11月14日(金) 午前10時00分～11時30分	直川地域コミュニティセンター
11月14日(金) 午後2時00分～3時30分	弥生地域コミュニティセンター
11月15日(土) 午前10時00分～11時30分	渡町台地域コミュニティセンター
11月15日(土) 午後2時00分～3時30分	蒲江地域コミュニティセンター河内分館



表紙の題字の作成者 佐伯豊南高校書道部

佐伯豊南高校書道部は3年生、2年生の少人数で高文連主催の大会や書道パフォーマンスの練習に励んでいます。
書道を通して地域に貢献できるよう、これからも日々の練習を大切に精進いたします。
よろしくお願い致します。



佐伯豊南高校の書道部の皆さん



豊南高校書道部 3年
おおともみゆ 大友美夢さん
おおしあゆか 大石歩香さん
もりたにじは 森田虹羽さん



議会モニター 委嘱式

6月3日、塩月健治議長から公募により選任された市議会モニター（一般モニター）へ委嘱状が交付されました。
議会モニター制度は、議会活動を知っていただき、議会運営に対する提言や御意見をいただくことにより、議会の見える化や、議会活動の改善等を図るものです。



議員研修会を開催

5月28日議員研修会を行いました。
（株）廣瀬行政研究所代表の廣瀬和彦氏を講師にお迎えし、「議会、議員の権限について」、「質問・質疑の効果的な手法」をテーマに研修会を実施しました。
今後の議会活動に役立つ学びの多い研修会となりました。

次の議会定例会は 9月2日(火)～9月25日(木)まで開催予定です。
(一般質問は9月9日～12日の4日間の予定です。)



本会議等の録画映像などは市議会のHPで公開しています。

議会活動を情報発信しています

 Instagram (インスタグラム) 2次元コード	 X (エックス) ※旧ツイッター 2次元コード	 YouTube チャンネル 2次元コード
---	---	---